

ひたち科学探検少年団 第6回活動報告

日時:平成22年9月26日(日)9時~12時

場所:教育プラザ2階、日立理科クラブ

今回は、「てことはかり」と「運動の法則」について実験をやりながら学びました。

アルキメデスの時代から「てこ」は重いものを動かす道具として知られてきました。

このてこの原理を使っている道具が身の周りにたくさんあることを調べました。

はさみ、釘抜、ホチキス、ペンチ、爪切り等。

次に「てこ」の原理でものの重さを計る「さおばかり」の工作をしました。重りを作り、竿にメモリをつけ、

天秤に色々なものをのせて、その重さを計ってみました。

自作の竿秤で計った重さと電子ばかりで計った重さを比較すると、割合よく合う事がわかり、「さおばかり」に自信が持てました。



次に、ニュートンの運動の法則について実験をやりながら、学びました。台車を使い、慣性の法則、作用・反作用の法則を実験しました。

出席:11名、指導員5名

(この日は、櫛形小学校が運動会でした。)